

はじめに

このたびは(株)デジタル製 GP3000 シリーズ RGB 入力ユニット「GP3000-RGB201」(以下、「RGB ユニット」と称します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は(株)デジタル製 プログラマブル表示器 GP3000 シリーズ¹(以下「表示器」と称します)の拡張ユニットとして、表示器で RGB 入力を行う場合に使用します。

ご使用にあたっては本書および関連するマニュアルをよくお読みいただき、本製品の正しい取り扱い方法と機能を十分にご理解いただきますようお願いいたします。

¹ 使用できる機種については「対応機種」を参照してください。

参照→ 対応機種(5 ページ)

お断り

1. 本製品および本書の内容の、一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
2. 本製品および本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
3. 本製品および本書の内容に関しては、万全を期して作成いたしましたですが、万一誤りや記載もれなど、ご不審な点がありましたらご連絡ください。
4. 本製品を使用したことによるお客様の損害その他の不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

© Copyright 2009 Digital Electronics Corporation. All rights reserved.

本書に記載の商品名は、それぞれの権利者の商標または登録商標です。





安全に関する使用上の注意

本書には、RGB ユニットを正しく安全にお使いいただくために安全表記が記述されています。本書ならびに関連マニュアルをよくお読みいただき、正しい取り扱い方法と機能を十分にご理解いただきますようお願いいたします。




絵表示について

本書では、RGB ユニットを正しく使用していただくために、注意事項に次のような絵表示を使用しています。ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。

その表示と意味は次のようになっています。




 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します
	正しく使用するために、してはいけない(禁止)事項です。
	正しく使用するために、しなくてはならない(強制)事項です。

警告

-  感電の恐れがあるので、RGB ユニットの取り付けは必ず表示器の電源を切ってから行うようにしてください。
-  表示器と接続機器 (PLC など) の通信異常で機械が誤動作しないようにシステム設計を行ってください。人体に傷害を負ったり、物的損害の恐れがあります。
-  RGB ユニットを改造しないでください。火災・感電の恐れがあります。

注意

故障しないために

-  RGB ユニットの内部に水や液状のものや金属を入れないでください。故障や感電の原因になります。
-  直射日光の当たる場所やほこりの多い場所での保管および使用は避けてください。
-  温度変化が急激で結露するような場所での保管および使用は避けてください。

- ④ 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管及び使用は避けてください。
- ④ RGB ユニットは精密機器ですので、衝撃を与えたり振動の加わる場所での保管および使用は避けてください。
- ④ RGB ユニットのシンナーや有機溶剤などで拭かないでください。薄めた中性洗剤を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞って汚れを拭き取ってください。

廃棄時の注意事項

- ❗ RGB ユニットの廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。

使用時の注意事項

- RGB 信号入力時、画面調整において、一瞬ブルーバックが表示されることがありますが異常ではありません。また、PC 画面切り換え時にも同様の現象が起きることがありますが異常ではありません。
- RGB 信号入力時、画面調整において、入力される信号によっては表示画像および RGB 出力画像に若干のノイズやぼけるなどの症状が発生し、調整範囲内において完全に調整しきれない場合があります。
- 対応する解像度以外の映像または対応するリフレッシュレート以外の映像を入力した場合、ブルーバックが表示されます。
- RGB ケーブルはコネクタ厚が 18mm 以内のものを使用してください。
- USB ケーブルはコネクタ厚が 8.5mm 以内のものを使用してください。
- USB ケーブルの取り外しはパソコンの電源を切ってから行ってください。通電中に USB ケーブルを取り外すとパソコンの動作が不安定になる場合があります。
USB ケーブルが外れた場合は、パソコンを再起動してください。

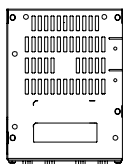
マニュアル表記上の注意

本書で使用している用語や記号等の意味は以下のとおりです。

重要	この表示の説明に従わない場合、機器の異常動作やデータの消失などの不都合が起こる可能性があります。
MEMO	使用するに際して、ポイントとなる項目です。
(1) (2)	操作手順です。番号に従って操作を行ってください。
	脚注で説明している語句についています。
参照→	関連事項の参照ページ、または関連するマニュアルを示します。
GP-Pro EX	(株)デジタル製 GP3000 シリーズ用の画面作成ソフトウェアです。

梱包内容

RGB ユニット 1 台

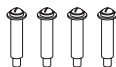


ハードウェアマニュアル（本書） 1 冊

安全に関する使用上の注意 1 冊

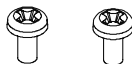
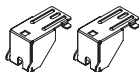
ドライバ CD 1 枚

取り付けネジ 4 個



USB ケーブル抜け防止ホルダー（mini-B） 1 セット

（USB ホルダー 2 個） （USB ホルダー取り付けネジ 2 個）



品質や梱包などには出荷に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

対応機種

対応機種

GP3000 シリーズ	AGP-35*0T、AGP-36*0T、AGP-37*0T
-------------	-------------------------------

対応ソフトウェア

GP3000 シリーズ	GP-Pro EX Ver. 2.50 以降 ¹
-------------	-------------------------------------

重要

- GP3000 シリーズで RGB ユニットを使用するためには、GP-Pro EX Ver. 2.50 以降¹が必要です。
それ以前のバージョンをご使用の場合は、バージョンアップが必要になります。お買い求めになった販売店、(株)デジタルまでお問い合わせください。

¹ バージョンは、画面作成ソフトの[ヘルプ]の[バージョン情報]で確認できます。

お問い合わせ

本製品でお困りのこと、ご質問など、いつでも解決のお手伝いをさせていただきます。弊社サポートサイト「おたすけ Pro!」へアクセスしてください。

<http://www.proface.co.jp/otasuke/>

初めての方は「お問い合わせ」サイトをご覧ください。

UL/c-UL 認定について

RGB ユニット「GP3000-RGB201」は UL File 番号 E220851 と E210412 では UL/c-UL 製品認定品です。

RGB ユニット「GP3000-RGB201」は UL File 番号 E171486 と E231702 では UL/c-UL 部品認定品です。

型式	UL/c-UL 登録型式
GP3000-RGB201	3710013-01

RGB ユニット「GP3000-RGB201」は以下の規格に適合しています。

- UL508

工業用制御装置

- UL60950-1

情報技術機器の安全性 第一部：一般要求事項

- ANSI/ISA-12.12.01-2007

クラス および、区分 2 並びにクラス、区分 1,2 の危険（分類された）区域に使用される非発火性の電気装置

< 注意事項 >

表示器を組み込んだ機器を UL 申請する際は、以下の事項にご注意ください。

- 背面部周囲の空間は全方向に 100mm 以上あけてください。この条件が満たされないと、内部部品の温度上昇が UL 規格の要求を満たさなくなる可能性があります。
- 本ユニットは 3280024-02, -14; 3280035-41 との組み合わせで規格への適合性が評価されています。
- 本ユニットは 3280024-01, -11, -13; 3280035-45, -75; 3581301-01, -03 との組み合わせで規格への適合性が評価されています。
- 入力可能な信号は絶縁された二次回路からのもののみです。
- RGB 入力インターフェイス回路は、30V 以上かつ有効電流 5mA 以上の回路と直接接続されることを意図されておりません。

<ANSI/ISA-12.12.01-2007 適合条件および取り扱い注意 >

- Class I, Division 2, Groups A,B,C および D ハザードガスロケーションまたはノンハザードガスロケーションでの使用のみ適合しています。
- 警告：爆発の危険 - 代替部品の使用により、Class I, Division 2 の適合性が損なわれる可能性があります。
- 警告：爆発の危険 - ハザードガスロケーションでは、モジュールを取り替えたり配線する前に電源を遮断してください。

- 警告：爆発の危険 - 電源を遮断するか、ノンハザーダスであることが確認できない限り、機器の切り離しをしないでください。

CE マーキングについて

RGB ユニット「GP3000-RGB201」は EMC 指令に適合した CE マーキング製品です。EN55011 Class A および EN61000-6-2 に適合しています。

目次

はじめに.....	1
安全に関する使用上の注意.....	2
マニュアル表記上の注意.....	4
梱包内容.....	4
対応機種.....	5
お問い合わせ.....	5
UL/c-UL 認定について.....	6
CE マーキングについて.....	7
目次.....	9
第 1 章 概要	
1.1 RGB ユニットのはたらき.....	11
1.2 システム構成.....	11
1.2.1 接続構成図.....	11
1.3 各部名称とその機能.....	12
1.4 別売品.....	13
1.5 ソフトウェアについて.....	13
第 2 章 仕様	
2.1 一般仕様.....	15
2.1.1 電氣的仕様.....	15
2.1.2 環境仕様.....	15
2.1.3 設置仕様.....	16
2.2 性能仕様.....	16
2.2.1 性能仕様.....	16
2.2.2 インターフェイス仕様.....	18
2.3 外観図と各部寸法.....	20
2.3.1 外観図.....	20
2.3.2 GP-3500 シリーズに RGB ユニットを装着した際の外観図.....	21
2.3.3 GP-3600 シリーズに RGB ユニットを装着した際の外観図.....	22
2.3.4 GP-3700 シリーズに RGB ユニットを装着した際の外観図.....	23
第 3 章 取り付け	
3.1 RGB ユニットの取り付け.....	25
3.2 配線について.....	27
3.2.1 RGB ケーブルの接続.....	27
3.2.2 USB ケーブルの接続.....	27

第4章 設定

4.1 RGB IN0/1 の表示調整	31
4.2 マウスエミュレーションの設定	31

アフターサービス

第 1 章 概要

1.1 RGB ユニットのはたらき

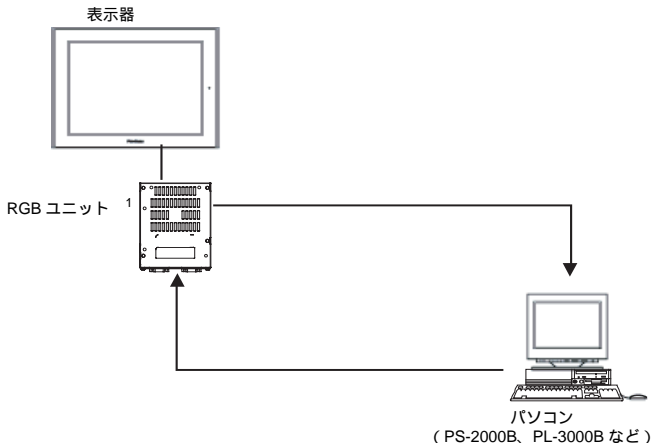
RGB ユニットには、以下のような機能があります。

- パソコンの映像 (RGB) の入力 2 つから、最大 2 画面を表示器に表示できます。
- 表示器の画像をキャプチャし、JPEG ファイルで CF カードに保存できます。

1.2 システム構成

1.2.1 接続構成図

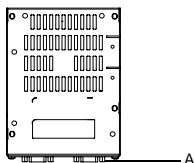
以下に接続例を示します。



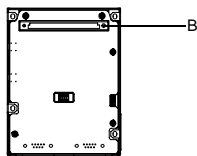
VM BUS	表示器の VM ユニット I/F に接続
USB (0 ~ 1)	USB ケーブルで接続 (オプション品または市販品)
RGB IN (0 ~ 1)	RGB ケーブルで接続 (オプション品または市販品)

- ¹ AGP-35 * 0T に RGB ユニットを装着すると、拡張ユニットインターフェイス(EXT1)に拡張ユニットを装着することができなくなります。

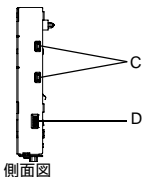
1.3 各部名称とその機能



正面図



背面図



側面図

A. RGB IN (RGB0、RGB1)

パソコンの映像を入力するコネクタです。RGB0 と RGB1 の 2 系統のパソコン映像を入力できます。

B. 表示器接続コネクタ

表示器本体の VM ユニットインターフェイスに接続するコネクタです。

C. USB (mini-B タイプ)

(USB0、USB1)

マウスエミュレーションを行うコネクタです。

D. SW1

システム設定用スイッチです。
(初期値 ON)



スイッチ	内容	設定
1	予約 (常時 ON)	-
2	予約 (常時 ON)	-
3	予約 (常時 ON)	-
4	予約 (常時 ON)	-

重要

- マウスエミュレーションを行う場合は以下の項目に注意してください。
 - マウスエミュレーションソフトウェア (UPDD) を弊社サポートサイト「おたすけ Pro!」からダウンロードし、インストールしてください。
<http://www.proface.co.jp/otasuke/>
 - USB0 と RGB0、USB1 と RGB1 の組み合わせでパソコンを接続してください。

1.4 別売品

ケーブル

品名	型式	内容
RGB ケーブル	FP-CV02-45	各種ホストから表示器に画像信号を出力する際の RGB ケーブルです。(4.5m)
USB ケーブル	CA9-USBAMB/5M-01	マウスエミュレーションを行う際に使用する USB ケーブルです。(5m)

メンテナンス品

品名	型式	内容
USB ケーブル抜け防止ホルダー (mini-B)	CA9-USBATRGB/MB-01	USB ケーブルの脱落を防止する抜け止め金具です。(1セット)

1.5 ソフトウェアについて

RGB ユニットは GP-Pro EX Ver. 2.50 以降 (GP3000 シリーズ) で対応しています。

ただし、ご使用のバージョンによっては、アップデートモジュールをダウンロードし、プログラムを追加でインストールする必要があります。詳しくは、(株) デジタルサービスサポートサイト「おたすけ Pro!」をご覧ください。

<http://www.proface.co.jp/otasuke/>

入力画像のウィンドウ表示設定など詳細については「GP-Pro EX リファレンスマニュアル」をご覧ください。

第 2 章 仕様

2.1 一般仕様

2.1.1 電氣的仕様

項目	仕様値	
電源	定格電圧	DC5V \pm 5% (表示器本体より供給)
	消費電力	DC5V 0.8A 以下
絶縁耐力	表示器が DC タイプの場合 : AC1000V 20mA 1 分間 (充電部端子と FG 端子間) 表示器が AC タイプの場合 : AC1500V 20mA 1 分間 (充電部端子と FG 端子間)	
絶縁抵抗	DC500V 10M 以上 (充電部端子と FG 端子)	

2.1.2 環境仕様

項目	仕様値	
物理的 環境	使用周囲温度	0 ~ 50
	保存周囲温度	-20 ~ +60
	使用周囲湿度	10 ~ 90%RH (ただし、湿球温度は 39 以下で結露のないこと)
	保存周囲湿度	10 ~ 90%RH (ただし、湿球温度は 39 以下で結露のないこと)
	じんあい	0.1mg/m ³ 以下 導電性じんあいがいないこと
	汚染度	汚染度 2
	腐食性ガス	腐食性ガスのないこと
耐気圧 (使用高度)	800 ~ 1114hPa (海拔 2000m 以下)	
機械的 稼働 条件	耐振動	JIS B 3502, IEC61131-2 に準拠 5 ~ 9Hz 片振幅 3.5mm 9 ~ 150Hz 定加速度 9.8m/s ² X,Y,Z 各方向 10 サイクル (100 分間)
	耐衝撃	JIS B 3501, IEC61131-2 に準拠 (147m/s ² X,Y,Z 各方向 3 回)
電氣的 稼働 条件	耐ノイズ	ノイズ電圧 : 1000V _{p-p} (表示器が DC タイプの場合) 1500V _{p-p} (表示器が AC タイプの場合) パルス幅 : 1 μ s 立ち上がり時間 : 1ns (ノイズシミュレータによる)
	耐静電気放電	接触放電法 6kV (IEC61000-4-2 レベル 3)

2.1.3 設置仕様

項目		仕様値
設置条件	取り付け方法	ネジ取付
	冷却方式	自然空冷
	質量	約 400g 以下
	外形寸法	W110 × H144 × D27mm (突起部およびコネクタ部除く)

2.2 性能仕様

2.2.1 性能仕様

RGB 入力 (RGB IN0/1)

項目	仕様	備考
信号方式	VESA 準拠 セパレートアナログ RGB 方式	-
最大伝送可能距離	5m 以下を推奨	接続 PC の性能にも影響されます。
表示色	262,144 色	-
解像度	表示可能画面モード参照 参照→ PC 入力表示可能画面モード (17 ページ)	-
色信号	0.7V _{p-p} 正極性 (TYP) 入力範囲: 0.5 ~ 1.0V _{p-p} 正極性	75 終端抵抗付き
水平同期信号	TTL レベル 正極性 / 負極性	信号の極性は自動判別されます。
垂直同期信号	TTL レベル 正極性 / 負極性	信号の極性は自動判別されます。
インターフェイス数	2	-
使用コネクタ (本体側)	D-sub15 ピン (ソケット)	-

PC 入力表示可能画面モード

モード	水平解像度	垂直解像度	水平同期信号周波数 (kHz)	垂直同期信号周波数 (Hz)	ドットクロック周波数 (MHz)
VGA	640	480	31.469	59.940	25.175
	640	480	37.861	72.809	31.500
	640	480	37.500	75.000	31.500
	640	480	43.269	85.008	36.000
SVGA	800	600	35.156	56.250	36.000
	800	600	37.879	60.317	40.000
	800	600	48.077	72.188	50.000
	800	600	46.875	75.000	49.500
	800	600	53.674	85.061	56.250
XGA	1024	768	48.363	60.004	65.000
	1024	768	56.476	70.069	75.000
	1024	768	60.023	75.029	78.750

- MEMO** • 表に記載した周波数から $\pm 5\%$ 以上外れた信号を入力した場合、画像が乱れる可能性があります。

USB

USB ポートはパソコンに仮想 COM ポートとして認識されます。

項目	仕様	備考
通信ボーレート	9600bps	
データ長	8bit	
パリティビット	無し	
ストップビット	1bit	
フローコントロール	無し	

2.2.2 インターフェイス仕様

RGB 入力インターフェイス

RGB 入力用 D-sub15 ピンコネクタ

< ケーブル側 >

推奨ケーブル	FP-CV02-45 ((株) デジタル製)
--------	------------------------

RGB コネクタピンアサイン

ピン番号	信号名	方向	内容	ピンコネクション
1	RIN	I	アナログ R	
2	GIN	I	アナログ G	
3	BIN	I	アナログ B	
4	VGA_ID0	-	未使用	
5	AGND	-	アナロググランド	
6	RGND	-	アナロググランド	
7	GGND	-	アナロググランド	
8	BGND	-	アナロググランド	
9	PLUG	-	+5V	
10	GND	-	グランド	
11	VGA_ID2	-	未使用	
12	DDCSDA	I/O	DDC データ	
13	HSYNC	I	アナログ Hsync	
14	VSYSNC	I	アナログ Vsync	
15	DDCSCL	I	DDC クロック	

重要

- ケーブルを接続してからパソコンや表示器 を立ち上げてください。動作不良の原因となりますので、通電中のケーブルの抜き差しはしないでください。
- (株) デジタル製 RGB ケーブルを使用せず、自作のケーブル等を使用された場合にはノイズ等に対する動作の保証はできません。

USB インターフェイス

マウスエミュレーション用 USB コネクタ (mini-B)

<ケーブル側>

推奨ケーブル	CA9-USBAMB/5M-01 ((株) デジタル製)
--------	------------------------------

USB コネクタピンアサイン

ピン番号	信号名	方向	内容	ピンコネクション
1	Vbus	I	5V 検出	
2	-Data (D-)	I/O	USB 差動信号 -	
3	+Data (D+)	I/O	USB 差動信号 +	
4	ID	-	未使用	
5	GND	-	グランド	

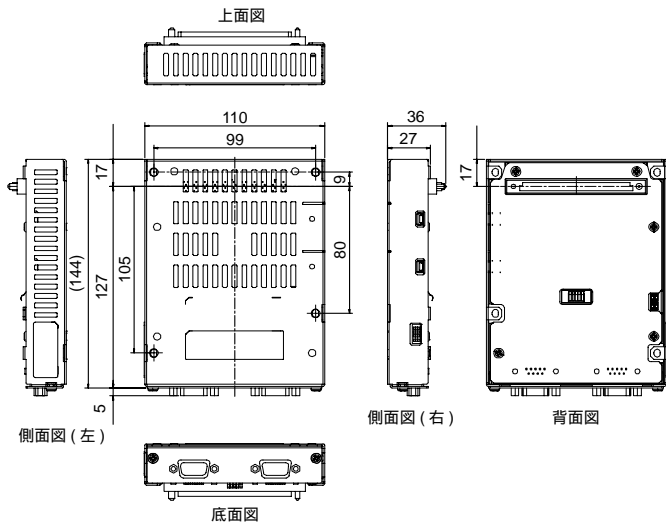
重要

- ケーブルを接続してからパソコンや表示器 を立ち上げてください。動作不良の原因となりますので、通電中のケーブルの抜き差しはしないでください。
- (株) デジタル製 USB ケーブルを使用せず、自作のケーブル等を使用された場合にはノイズ等に対する動作の保証はできません。

2.3 外觀図と各部寸法

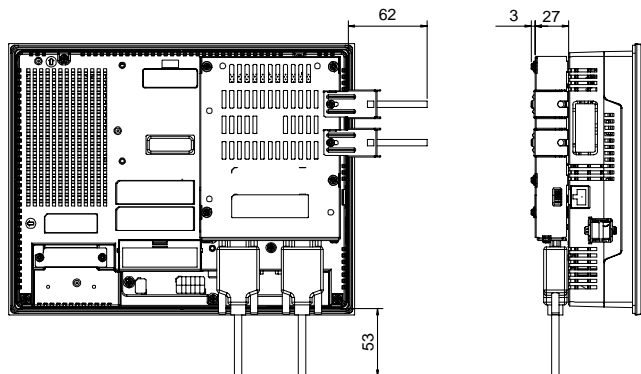
2.3.1 外觀図

単位 :mm



2.3.2 GP-3500 シリーズに RGB ユニットを装着した際の外觀図

単位 :mm

**MEMO**

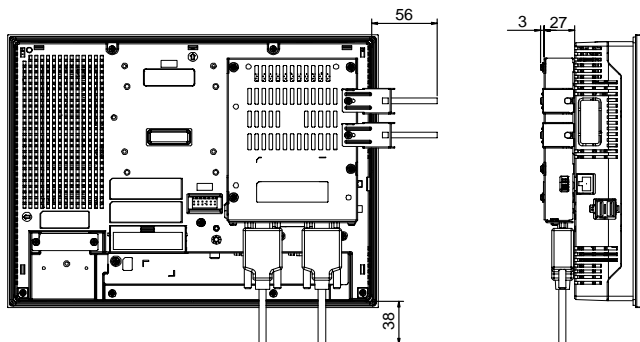
- コネクタに無理な負荷がかからないようにケーブルの材質、引き出しなどを考慮して設計してください。

重要

- 上図は全て、ケーブルの曲げを考慮した寸法値です。ただし、接続するケーブルの種類によって寸法値は変わります。設計の際の参考値とし目安にしてください。
- 表示器を設置する装置内は、接続するコネクタとケーブルのための十分なスペースができるように設計してください。
- コネクタを装着した状態で表示器を設置、取り外しする場合は、コネクタを破損しないよう十分注意して作業してください。
- AGP-35*0T に RGB ユニットを装着すると、EXT1 に拡張ユニットを装着することができなくなります。

2.3.3 GP-3600 シリーズに RGB ユニットの装着した際の外観図

単位 :mm



MEMO

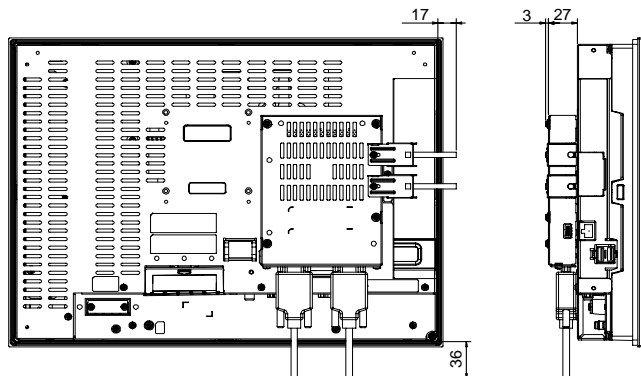
- コネクタに無理な負荷がかからないようにケーブルの材質、引き出しなどを考慮して設計してください。

重要

- 上図は全て、ケーブルの曲げを考慮した寸法値です。ただし、接続するケーブルの種類によって寸法値は変わります。設計の際の参考値とし目安にしてください。
- 表示器を設置する装置内は、接続するコネクタとケーブルのための十分なスペースができるように設計してください。
- コネクタを装着した状態で表示器を設置、取り外しする場合は、コネクタを破損しないよう十分注意して作業してください。

2.3.4 GP-3700 シリーズに RGB ユニットを装着した際の外觀図

単位 :mm

**MEMO**

- コネクタに無理な負荷がかからないようにケーブルの材質、引き出しなどを考慮して設計してください。

重要

- 上図は全て、ケーブルの曲げを考慮した寸法値です。ただし、接続するケーブルの種類によって寸法値は変わります。設計の際の参考値とし目安にしてください。
- 表示器を設置する装置内は、接続するコネクタとケーブルのための十分なスペースができるように設計してください。
- コネクタを装着した状態で表示器を設置、取り外しする場合は、コネクタを破損しないよう十分注意して作業してください。

第3章 取り付け

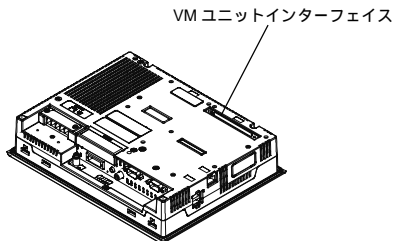
3.1 RGB ユニットの取り付け



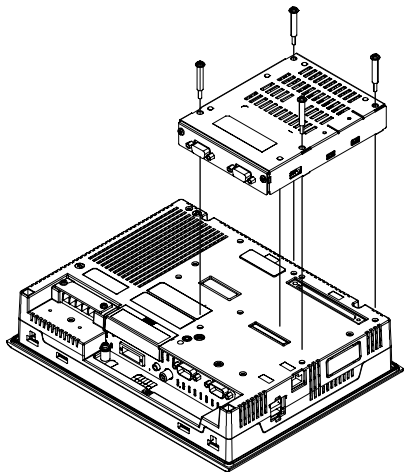
- ❗ 感電の恐れがありますので、取り付け前に必ず表示器に電源が供給されていないことを確認してください。

以下の図は AGP-3550T への取り付け方法を示しています。

- (1) 表示器から電源ケーブルをはずし、表示面を下にして水平に置きます。
- (2) 表示器背面の VM ユニットインターフェイスに、RGB ユニットの表示器接続コネクタを差し込みます。



- (3) RGBユニットに付属のネジ（4個）で固定します。（締め付けトルク：0.5～0.6N・m）

**重要**

- AGP-35*0T に RGB ユニットを装着すると、EXT1 に拡張ユニットを装着することができなくなります。
- 取り付けネジの構造上、確実に固定してもネジ頭部と RGB ユニットの間にすきまが開く可能性があります。強く締め付けるとネジ頭部を破損する恐れがありますので、適正な締め付けトルクで締め付けてください。

3.2 配線について

3.2.1 RGB ケーブルの接続

- (1) 表示器およびパソコンに通電されていないことを確認します。
- (2) RGB IN0 または RGB IN1 に RGB ケーブルを接続します。コネクタはネジ止めして、しっかりと固定してください。

重要

- ケーブルを接続してからパソコンや表示器を立ち上げてください。動作不良の原因となりますので、通電中のケーブルの抜き差しはしないでください。
- RGB ケーブルはコネクタ厚が 18mm 以内のものを使用してください。18mm を超える場合は表示器と干渉するため接続できません。

3.2.2 USB ケーブルの接続

重要

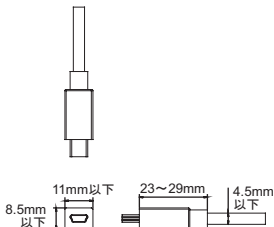
- USB インターフェイスを ANSI/ISA-12.12.01-2007 に規定されるハザーダスロケーションで使用する場合は USB ケーブル抜け防止ホルダーを使用して USB ケーブルを固定してください。
コネクタが抜けないように固定されない限りハザーダスロケーションでの USB インターフェイスは使用できません。

USB ケーブル抜け防止ホルダーの取り付け

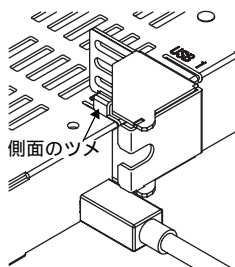
- (1) USB ケーブルを RGB ユニットに接続します。

MEMO

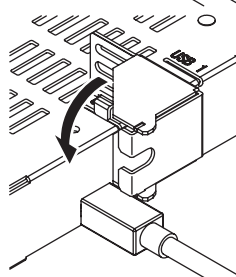
- USB ケーブル抜け防止ホルダーは右図のサイズの USB コネクタシェルに対応しています。
- USB0 と RGB0、USB1 と RGB1 の組み合わせでパソコンを接続してください。



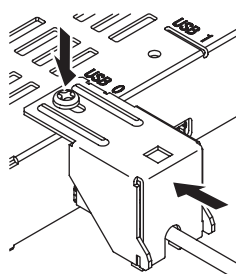
- (2) USBホルダーの側面のツメをRGBユニット正面のスリットのUSBケーブル側に差し込みます。



- (3) USBホルダーをUSBケーブルの方向に倒します。
USBホルダーのガイドにUSBケーブルを通します。

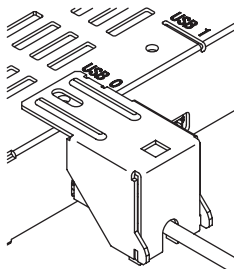


- (4) USBホルダーがUSBケーブルの接続部に当たるように調整し、USBホルダー取り付けネジでネジ止めます。



USB ケーブル抜け防止ホルダーの取り外し

USB ケーブル抜け防止ホルダーの取り付け手順 2 から 4 の逆の手順で USB ケーブル抜け防止ホルダーを取り外し、USB ケーブルを抜きます。



重要

- USB ケーブルの取り外しはパソコンの電源を切ってから行ってください。通電中に USB ケーブルを取り外すとパソコンの動作が不安定になる場合があります。USB ケーブルが外れた場合は、パソコンを再起動してください。

第 4 章 設定

4.1 RGB IN0/1 の表示調整

RGB IN0/1 に入力された映像は、表示器で位置調整および画面調整、色調整を行うことができます。

設定方法については GP-Pro EX の「保守 / トラブル解決ガイド」を参照してください。

4.2 マウスエミュレーションの設定

マウスエミュレーションを使用するには USB ドライバとマウスエミュレーションソフト (UPDD) のインストールが必要です。

USB ドライバは RGB ユニットに同梱のドライバ CD に収録しています。UPDD は (株) デジタルサポートサイト「おたすけ Pro!」からダウンロードしてください。

<http://www.proface.co.jp/otasuke/>

USB ドライバの動作環境

Windows[®] 2000、Windows[®] XP、Windows Vista[®]

MEMO

- マウスエミュレーションソフト (UPDD) の動作環境は「おたすけ Pro!」で確認してください。

設定手順

- (1) パソコンと RGB ユニットを USB ケーブルで接続します。

参照 → 3.2.2 USB ケーブルの接続 (27 ページ)

- (2) ドライバ CD に収録されている USB ドライバをインストールします。

MEMO

- 環境によってはインストール時に「デジタル署名が見つかりませんでした」(Windows 2000) や「Windows ロゴテストに合格していません」(Windows XP)、「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」(Windows Vista) と表示される場合があります。問題ありませんのでインストールを続行してください。

- (3) インストールした USB ドライバは仮想 COM ポートとして動作します。デバイスマネージャの [ポート (COM と LPT)] に「GP3000-RGB20x」が追加されていることを確認してください。「GP3000-RGB20x」が割り付けられたポート番号は UPDD のインストール時に選択します。

MEMO

- デバイスマネージャはコントロールパネルから起動します。

Windows 2000 の場合

コントロールパネルから [システム] を開き、[ハードウェア] タブをクリックします。

[デバイスマネージャ] をクリックしてデバイスマネージャを表示します。

Windows XP の場合

コントロールパネルから [パフォーマンスとメンテナンス] を開き、[システム] をクリックします。

[ハードウェア] タブの [デバイスマネージャ] をクリックしてデバイスマネージャを表示します。

Windows Vista の場合

コントロールパネルから [ハードウェアとサウンド] をクリックします。

[デバイスマネージャ] をクリックしてデバイスマネージャを表示します。

- (4) UPDD をインストールします。

インストール方法についてはおたすけ Pro! のダウンロードサイトに記載している「インストールについて」を参照してください。

重要

- UPDD のインストール時に表示される [タッチパネルドライバの選択] では「Digital, TSC-1310D Series Serial」を選択してください。
- UPDD のインストール時に表示される [ポート] では GP3000-RGB20x が割り当てられているポートを選択します。ポートはデバイスマネージャで確認できます。

アフターサービス

■ サービス・リペアセンター

(株) デジタル製品の故障、修理などのご相談に対応いたします。
お問い合わせの際には問題点、現象などをあらかじめご確認の上、ご連絡ください。また製品送付時には、問題点、現象を書き留めた修理依頼書を同封してください。その際、輸送時の振動で製品が破損しないよう、梱包状態には十分ご注意ください。ようお願いいたします。(修理依頼書は下記受け付け窓口へご請求ください。)

■ お問い合わせ先

サービス・リペアセンター 大阪 (月～金 9:00～17:00)

TEL : (06) 6613-1638 FAX : (06) 6613-1639

以下のサービスの受け付け窓口は、お買い求めの代理店、(株) デジタルの営業担当、または (株) デジタル サービス・リペアセンターです。

■ 契約保守

製品ご購入時に年間一定料金を契約を結ぶことにより、不具合に対して無償でサービス・リペアセンター修理をするシステムです。

■ サービス・リペアセンター修理

お客様より修理品をサービス・リペアセンターへ返却していただき、修理するシステムです。故障した製品を宅配便等でお送りいただき、修理後ご指定の場所へお返しいたします。処置内容により修理費用は異なります。

■ 保証および修理について

1. 無償保証期間

無償保証期間は、納入後 12ヶ月とさせていただきます(有償修理品の故障に対しては、同一部位のみ修理後 3ヶ月)。無償保証期間終了後は有償での修理となります。

2. 無償保証範囲

- (1) 無償保証につきましては、上記無償保証期間中、弊社製品の使用環境・使用状態・使用方法などがマニュアル・取扱説明書・製品本体注意ラベル等に記載された諸条件や注意事項に従っていた場合にのみ限定させていただきます。
- (2) 無償保証期間内であっても、次のような場合には、有償修理とさせていただきます。
 1. 納入後の輸送(移動)時の落下、衝撃等、貴社の取扱い不適当により生じた故障損傷の場合。
 2. カタログ・マニュアル記載の仕様範囲外でご使用された場合。
 3. 取扱説明書に基づくメンテナンス、消耗部品の交換保守が正しく行われていれば防げたと思われる故障の場合。
 4. 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 5. 接続している他の機器、及び不適当な消耗品やメディアの使用に起因して本製品に生じた故障及び損傷。
 6. 消耗部品の交換。
 7. 販売当時の科学・技術の水準では予見できない原因による故障の場合。
 8. その他、貴社による故障、損傷または不具合の責と認められる場合。

- (3) 次のような場合には、たとえ有償であっても修理をお断りすることがございます。

弊社以外で修理、改造等をされたと認められる場合。

3 生産中止について

- (1) 弊社製品の生産中止は、弊社ホームページ上で、最終出荷の6ヶ月前に掲示いたします。
- (2) ただし、使用部品の生産中止に伴う弊社製品の生産中止に関しましては、部品メーカーからの生産中止の連絡があり次第、弊社ホームページ上に掲示いたします。

4 生産中止後の修理期間（有償修理）

- (1) 生産中止を弊社ホームページで掲示した月を起点として7年間は、弊社サービスリペアセンターにて当該製品の修理を行います（2005年10月現在）。
- (2) 上記期間に限らず、交換部品が入手不可能となった場合には、修理できなくなることがございますのでご了承ください。

5 修理条件

- (1) 修理は、弊社製品のみを対象といたします。オプション品は対象外となります。
- (2) 修理に際し、お客様のプログラムやデータが消失することがありますので、予めデータを保存するようにしておいてください。
- (3) 弊社製品に記憶されているお客様のデータにつきましては、取扱には十分に注意をいたしますが、お客様の重要機密に関する事項等は、修理前に消去いただくようお願いいたします。消去できない故障の場合は、その旨を予めご連絡いただくようお願いいたします。
- (4) 修理は、センドバックによる弊社工場修理を原則とさせていただきます。この場合、弊社工場への送料はお客様負担にてお願いいたします。
- (5) 修理にて交換された部品の所有権は（株）デジタルに帰属するものとします。

■ 技術ご相談窓口

（株）デジタル製品ご使用時の技術的なご相談を承ります。

1 お問い合わせの前に

まずマニュアルの該当するページをご覧ください。

2 お問い合わせの際には次の点についてお知らせください。

ご担当者名 ご連絡先電話番号 ご使用機種 ご使用環境
問題点・現象・操作を行った手順などを、あらかじめ書き留めてからご連絡くださいますようお願いいたします。

3 お問い合わせ先

月～金 9:00～17:00

TEL 大阪：(06) 6613-3115 東京：(03) 5821-1105 名古屋：(052) 932-4093

月～金 17:00～19:00

専用ダイヤル TEL (06)6613-3206

土・日・祝日（12月31日～1月3日を除く）9:00～17:00

専用ダイヤル TEL (06)6613-3206

■ ホームページからのアクセス

ホームページからのお問い合わせは随時承ります。

URL <http://www.proface.co.jp/>